

平成 28 年度事務事業評価表(公共事業用)

①事務事業名		担当部課	部課コード	120200	TEL	2998-9172																																											
事業コード	清流苑第二の橋築造事業	担当部課	道路建設課																																														
120205		グループ	用地グループ・工務グループ																																														
開始年度		平成 26 年度	→	終了年度	平成 30 年度																																												
②事業の概要	事業の種類別	<input type="checkbox"/> 土地利用 <input checked="" type="checkbox"/> 土木建設 <input type="checkbox"/> 建築 <input type="checkbox"/> 補助 <input checked="" type="checkbox"/> 単独 <input type="checkbox"/> 単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 複数年度																																															
	根拠法令	道路法・道路構造令・所沢市道路の構造の技術的基準等を定める条例																																															
	分野別計画・指針																																																
	関連・類似事業																																																
	総合計画の体系	章	街づくり	節	道路	基本方針	道路環境の整備に取り組みます																																										
事業開始の背景・目的(どのような経緯で、どのような効果を目指して実施しているのか)	市内大字下安松の清流苑地区については都県境に位置しており、柳瀬川が隣接していることから「新柳瀬橋」のみが、所沢市側への唯一の接続通路となっている状況である。このようなことから災害時における避難経路の確保のため、清流苑自治会より「第二の橋」の設置要望が出されており、その整備について検討を進めてきた。 これまでは、東京都が行う予定の柳瀬川と空堀川の合流工事の影響から、合流後の旧柳瀬川となる現在の河川の水量が不確定であるなど、条件が整わない状況であったが、平成25年2月に埼玉県より計画水量が始めて示されたことから、橋の整備事業を進めることとしたものです。																																																
③事業の内容	事業の内容・実施方法(最終的にどのような状態を生み出そうとしているのか、そのためにどのような方法・手段を用いるのか)																																																
	橋りょうの築造を行うことによる、災害時における避難経路の確保。																																																
	事業開始後の環境変化(人口や需要量見込み等の社会経済情勢の変化、自然環境の変化等)とそれに対する対応																																																
特になし																																																	
事業費概要(千円)	事業開始時の総事業費予定額	252,850	事業の進捗率	平成28年度の事業内容及び平成29年度以降に予定している事業内容の概要																																													
	事業費累計(平成27年度まで)	12,096	4 %	平成28年度 詳細設計 用地購入 平成29年度 橋りょう下部工事 平成30年度 護岸工事 橋りょう上部工事 市道接続部道路工事																																													
	平成28年度実施計画における事業費	平成28年度	42,684				18 %																																										
		平成29年度	110,000				55 %																																										
		平成30年度	135,000				100 %																																										
	現時点での総事業費予定額	299,780	平成 30 年度終了予定																																														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>《会計種別》</th> <th>一般会計</th> <th>平成 26 年度 (千円)</th> <th>平成 27 年度 (千円)</th> <th>平成 28 年度 (千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>予算現額</td> <td></td> <td>10,000</td> <td>2,500</td> <td>42,684</td> </tr> <tr> <td>決算(見込み含む)</td> <td></td> <td>9,720</td> <td>2,376</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(非常勤特別職員)</td> <td>(臨時任用職員)</td> <td>(人)</td> <td>(人)</td> <td>(人)</td> </tr> <tr> <td>正規職員人件費</td> <td></td> <td>0.75 人 6,541</td> <td>0.85 人 7,361</td> <td></td> </tr> <tr> <td>事業費合計</td> <td></td> <td>16,261</td> <td>9,737</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">財源内訳</td> <td>一般財源</td> <td>16,261</td> <td>9,737</td> <td>42,684</td> </tr> <tr> <td>国・県支出金</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他()</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>							《会計種別》	一般会計	平成 26 年度 (千円)	平成 27 年度 (千円)	平成 28 年度 (千円)	予算現額		10,000	2,500	42,684	決算(見込み含む)		9,720	2,376		(非常勤特別職員)	(臨時任用職員)	(人)	(人)	(人)	正規職員人件費		0.75 人 6,541	0.85 人 7,361		事業費合計		16,261	9,737		財源内訳	一般財源	16,261	9,737	42,684	国・県支出金	0	0	0	その他()			
《会計種別》	一般会計	平成 26 年度 (千円)	平成 27 年度 (千円)	平成 28 年度 (千円)																																													
予算現額		10,000	2,500	42,684																																													
決算(見込み含む)		9,720	2,376																																														
(非常勤特別職員)	(臨時任用職員)	(人)	(人)	(人)																																													
正規職員人件費		0.75 人 6,541	0.85 人 7,361																																														
事業費合計		16,261	9,737																																														
財源内訳	一般財源	16,261	9,737	42,684																																													
	国・県支出金	0	0	0																																													
	その他()																																																
④経費	成果指標	橋りょうの築造	橋りょうの築造にあたって、段階ごとに達成とする。	%	目標値	H 26 0 H 27 25 H28目標値 50 将来目標 100																																											
	実績				0	13 <input checked="" type="checkbox"/> 「実績」拡大図る <input type="checkbox"/> 「実績」縮小図る																																											
	目標達成状況	どれだけ目標に近づいているかを達成率として示しています		%	達成率	***** 52 「どちらかをチェックしてください」																																											
	成果指標設定理由・目標値の考え方	橋りょうの築造にあたり、大きく4段階に分けられるので、それぞれ達成ごとに25パーセント達成した事とする。 ①設計→②用地購入→③橋りょう下部工事→④護岸工事・橋りょう上部工事																																															
⑥評価	事業計画見直しの必要性	<input type="checkbox"/> 見直しの必要あり⇒理由及び今後の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの必要なし⇒住民の要望により、災害時の避難経路の確保として築造することから見直しの必要はないと考える。																																															
	総事業費見直し	<input type="checkbox"/> 見直しの必要あり⇒(<input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 終了) <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの必要なし																																															
	上記評価の理由	橋りょうを築造していく上で必要最低限の費用で行っていく予定である。																																															
評価日	H28.8.1	評価者職氏名	道路建設課長 加藤 孝雄																																														
⑦環境影響	有益な環境影響	5-2安心な都市空間の整備		有害な環境影響を及ぼす原因活動	橋りょうの築造工事																																												
	規制を受ける環境法令等			緊急事態	無																																												